

団体名:ニシヤマ・イバシヨラボ

活動名:イベントを通じて地域住民同士のコミュニティ形成のきっかけと街に新たな「居場所イバシヨ」を創り出す

日時:令和3年 7月30日(金) 10時30分 ~ 11時30分
場所:ニシヤマナガヤ

◆◇団体の紹介◇◆

マンモス校である西山小学校を中心に、老若男女の多くの人々が住む西山学区で、イベントなどを通じて、地域住民同士のコミュニティ形成のきっかけと、街に新たな「居場所(イバシヨ)」を創り出す事を目的とする団体。

◆◇活動の内容◇◆

名古屋市名東区にある西山学区はマンモス校である西山小学校を中心に約7,500世帯、老若男女の多くの方が暮らしている。集合住宅も多いため、人の出入りが激しいのもこの学区の特徴で、コミュニティが継続されづらく、人口が多いためマンション単位や、幼稚園・保育園・小学校等の同級生単位のコミュニティは存在するものの、その垣根を超える交流は発生しづらい状況にあると感じます。そんな学区の中に、「商店街の空き家店舗を借りて「ニシヤマナガヤ」というカフェや花やが入る複合施設を作りそこで



地域の交流を目指す。まずは「お習字の宿題やっちゃおう」夏休み企画!として地域の小さなお子さんが一生懸命、墨汁まみれになりながら、傑作な1枚を書き上げていました。

今回は認知症の学習会として“ヘルパーステーションひだまりのケアマネジャー”松村優さんを招いてお話を伺いしたり、相談したりと現場の方と直接話をする機会でした。

回もコロナ対策で換気をした上、全員がマスクをした状態の講習会でしたが、講師の松村さんからの提案で、マスクの上にイラストの唇を書いたステッカーを貼るように配布されました。そこから全員笑顔で参加という流れで、参加者の顔が一気にほころび和んだところで、本題に入りました。

お困りごとについてワークショップ形式で進行され、近隣のお困り事や利用者の相談等、団体のメンバーが日頃から地域の方と密接に向き合っている姿勢が見えて、今後の活動の期待がもてました。

